



平田 武 議員

米戸別所得補償

どうする

問 今年から導入される米戸別補償によって兼業農家や小規模農家を含む意欲ある農業者の育成確保とあるが見解を伺う。

答 農業経営の多角化や複合化、六次産業化等により付加価値を生み競争力のある経営体の育成、規模拡大や効率化にも結びつく。

問 減反条件で米作付け面積10a当たり1万5千円を支給するとの事だが、弊害として、産地確立交付金の廃止で大型農家への補助が減少し、広く薄くのバラまきであり、自立できる農家の育成となっていない。地域の絆や集落営農、用地化にも崩れる状況



有機栽培の栗かぼちゃ

となつている。競争力、強い農業、自給率向上に問題があるのではないか見解を伺う。

答 担い手、認定農家を主体に進めてきたが、意欲ある小規模農家も対象となった。悪いケースとして、組織からの脱退やローテーション、用地形成にも懸念は残る。地域で充分検討され対処を願う。

問 本市の特励作物支援策を急ぐべきではないか。

答 本市においては、キュウリ、トマト、ブロッコリー、加工ジャガイモ、かぼちゃ等の15種類があり、モデル事業のなかで上乘せできる様に県と協議中である。自給率の向上と同様に国を守る視点で具体的に効果がでるよう研究して行く。

ちょっとホンネ
夏バテ防止にカボチャスープを。蒸してザルで漉し、牛乳と塩コショウで味付けを。

- その他の質問
- 1 行政執行と人事配置及び組織機構について
 - 2 事業仕分けは自治体としてなじむのか
 - 3 3区、合併申し合せ事業の対応について



湊 清一 議員

市の将来設計と子孫定住化策は

問 工業基盤基本計画策定事業の廃止の件だが、昨年2月議会に議員24名全員で議決し計画に着手した事業である。市長自身も賛成し議決決定の事業を自ら一年で廃止は納得できない見解を伺う。

答 今回の事業仕分けで一般会計から全額支出は、リスクが伴うのでオーダーメイドで着手する。尚、議員の議決判断と私は執行者の立場で判断したものである。

問 県内外の企業誘致成功例では、大型団地保有自治体が大事で2千500人の大型誘致もある。山林や田畑に線引き団地保有は論外。企業の進出は生産コスト試算が第一条件。用地単価や



工業基盤整備整備構想のあった深野地区（山側）手前は工事途中の常磐道・原町IC付近

アクセス等提示のない所にオーダーのある筈がない。団地の計画、調査測量に1年、説明同意設計等発注に1年半、工事期間1年半、工場完成まで最短5、6年。これ程待つ企業は今時の経済界ではゼロである。準備ゼロの企業誘致はできないし、やらないも同然であると思うが伺う。

答 市長方針はトップセールスで判断している。また、大型団地は調査の中で残っていない。団地造成には事前調査に1年、実施計画等に2年、中に隣地開発等条件クリア等にもう少しかかる。企業には半年、1年が勝負でスピードな対応が要る。スピードが求められるのが一般的状況である。

ちょっとホンネ
市長は議員時と執行者の立場で判断が別だ。言行不一致?!。議会議決を何と心得るか!!

- その他の質問
- 1 企業誘致策の推進について
 - 2 規模拡大農家育成奨励事業不要について
 - 3 市の中長期財政計画の策定について

牛島整備事業 進捗状況について



西 銚治 議員

問 牛島整備事業は、長期的な重要懸案事項である。

恵まれた立地条件は、鹿島区の観光開発には十分な地域でもあり、既にパークゴルフ場は年間2万1千人も訪れる。市民の憩いの場として、温泉主体の施設要望は日増しに強い。牛島整備事業計画策定状況について伺う。

答 基本計画の取りまとめについては地元行政区や各種団体推薦による検討委員会による審議を行う。その上で、庁内協議を経て計画の素案をまとめ、今後この計画に基づき基本設計中で規模や事業費等を精査して



牛島パークゴルフ場

いく。

問 牛島施設運営管理について、地元行政区の方々に受けてやろうとする場合、行政の考えを伺う。

答 公設民営方式の際に一つの方法として指定管理がある。この目的なり利用状況を勘案してどのような方法があるか議論が必要と思う。資金・人材・組織

市長の 政治姿勢について



太田 淳一 議員

力等一団体と認められる。そういったことを踏まえ、地元との協議など必要かなと考える。

問 牛島温泉施設計画によると完成は平成26年であるが、1年前に見直し、早期実現を図るべきと思うが。

答 今後、鹿島行政区からも地域懇談会等の要請もある中で、その中でしっかりと、皆さんと話し合いを進めながら対応していく。

ちょっとホンネ
政治に先見性があるとするならば、今こそ相馬地方広域合併への烽火(のろし)をあげよ!

その他の質問

- ① 烏崎海岸に群生する観光花園と環境保護
- ② 南相馬市各地区海岸護岸保全状況

問 農産物のブランド化と販売拡大について3月議会でも指摘している内容でもあるが、農産物等のブランド化と販売拡大について、その後どのような取り組みを行っているのか伺う。

答 ブランド化の取り組みは重要な施策と考えている。岩手大学農学部教授を迎え、講演会を開催する。その時に具体的なブランド化の内容について提案がなされる。

問 市有施設のAEDの屋外設置について

ちょっとホンネ
杉並区での農産品販売は7月末で29回、約500万円の総売上。今後ガンバリます!!

その他の質問

- ① 事業仕分けの成果について
- ② 中長期財政計画策定の策定方針について
- ③ 本市を被告とする住民訴訟について



AEDの屋外設置を!!

について、常に市民の手の届く所に設置することが、市民の生命を守るという観点からも必要と考える。市有施設のAEDの屋外設置について見解を伺う。

答 屋外設置について、夜間に比較的人通りの多い市有施設への屋外設置を、今後検討していく考えである。

市長の 政治姿勢について

問 「まちなかひろば」の今後の運営について伺う。

答 事業仕分けで民間実施と判定されたことから、庁内で検討した結果、インキュベーター機能と賑わいづくり事業等は市が実施し、市民市場については、屋台村などと同様に民間実施の個店経営にする。